

小児医療の誘致について

【ご意見】（令和5年10月10日受付）

私は千曲市の病院で勤務する医療スタッフです。千曲市の医療情勢について感じていることを意見させて頂きたいと思います。

千曲市は高齢化が進む一方で、長野市や上田市と比べて金額面で家を建てやすい等から若い世代も増えているように感じます。

しかし市内で小児医療を提供できる医療機関が少なく、長野市や上田市の医療機関へ受診する機会が各家庭で多いのではないのでしょうか。例を挙げるならば、現在市内のあるクリニックの当日受診をするには朝7時(6時半だったかもしれません)になった瞬間にWeb予約をして順番が取れるかどうかという状況です。我が子の具合が悪いのに近隣小児科クリニックに受診できない状況になることもあります。

人口減少や少子化は最早止めることのできない現実的な問題ですが、持続して若い世代が千曲市に家を建てて快適に住み続けてもらうためには、医療インフラとしてかかりつけ医機能を有するクリニックレベルの小児医療の規模を増やす必要があると思います。入院が必要な場合には市外の大きな病院へお願いせざるを得ないですが、少なくとも外来受診だけでも市内で対応できると親世代も助かりますし、市外の医療機関の負担も減少すると考えられます。

上記の状況から、千曲市に小児科クリニックの誘致を医師会に任せっきりにするのではなく、市としても積極的に誘致すべきと考えますがいかがでしょうか？市立小児科クリニックとまではできないにしろ、都市計画とも合わせて小児科クリニック開業支援を考えて頂けますと幸いです。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

日頃より当市保健事業にご理解ご協力いただきありがとうございます。

若い世代の方々が千曲市に移住し、安心して快適に住み続けていただくために、安定した医療サービスを提供すること、特にご意見をいただきました小児科医院の確保は、重要な要素であると認識しています。

現在当市で小児科を開業している医療機関は3か所ありますが、小児科を掲げていないが乳幼児の診療についてご協力いただいている医療機関もございます。

ご意見をいただきました小児科医院の確保には、医師数の不足や偏在の問題、医師が開業したいと思えるまちづくり等多くの課題がございます。そのため、他の自治体の取り組み・手段の研究等、庁内における検討のみならず、県他関係機関にご意見をいただきながら、小児科医療の充実に向け、調査・研究に鋭意努めてまいります。

担当 健康推進課